

2004年11月22日

株式会社ネットディメンション

## ネットディメンション社の3Dエンジンによる「フォトキューブ」、 マイクロソフト株式会社のポータルサイト「MSN 自動車」で採用

株式会社ネットディメンション(本社: 東京都港区、代表取締役社長: 林 徹)は、自社の3Dマルチメディアコンテンツ技術「マトリックスエンジン」によるソリューション「3Dフォトキューブ」を開発し、マイクロソフト株式会社の運営するインターネット自動車情報サービス「MSN 自動車」の全面リニューアルにおいて採用されました。

本製品は、記事や画像、写真などの従来の2次元情報を、3D空間内のキューブにマッピングし、それを回転、拡大、縮小などダイナミックに動作させ、3D空間が持つ圧倒的な情報量と、ゲーム的な映像表現により分かりやすいホームページを提供するものです。

ネットディメンション社の「マトリックスエンジン」技術は3Dゲーム技術を応用したものであり、本製品の特徴は以下の3つです。

- 1) 3D・画像・動画・音楽などの様々な素材をネットワーク上で扱うことが可能
- 2) 圧倒的な軽快性と安定性
- 3) 非常に容易なコンテンツ制作が可能

エンジンソフトウェアのサイズは極めて小さいにも関わらず、3Dのみならず2D画像、動画、音声など、あらゆるマルチメディア素材をコントロールする機能を備えております。またコンテンツ制作については独自のオーサリング(制作)環境により、プログラミングの知識が無くても、クリエイターが思い描くコンテンツを短期間に制作することが可能です。

「3Dフォトキューブ」は、ブロードバンドの普及とともに増え続ける情報を、写真やテキストなど、伝統的な情報制作手法を継承したまま3D空間に配置するもので、「マトリックスエンジン」によるコンテンツ制作の容易さと、軽量・軽快な動作により、大量な情報を扱うポータルサイトでの活用を実現しています。

ネットディメンション社では、3Dによる圧倒的な情報量と分かりやすさを活かしたコンテンツインターフェイスの仕組みを、携帯電話やカーナビなどの情報端末でも展開しており、既に採用に向けて検討が進んでいるメーカーも数社あります。

## PRESS RELEASE

ブロードバンドが普及し、日常生活のあらゆる情報がモバイル機器を始めとする様々な機器で利用されるユビキタス社会の浸透に伴い、わかりやすく情報を提供・閲覧できる高度なコミュニケーション手段としてゲームのように軽快に動作する 3D 映像技術が注目されています。

ネットディメンション社では、このようなユビキタス社会における様々な組込み分野も視野に入れたコンテンツ技術の創出を積極的に推進していきます。

### ① MSN 自動車



### ② 3D フォトキューブ (サンプル)



以上